

# 常滑市新庁舎建設基本設計 概要版

近隣と病院にやさしく調和する、「コミュニケーション日本一、緑の丘の庁舎」

## ■計画地概要

**所在地** 常滑市飛香台3丁目地内（市民病院敷地）  
**用途地域** 第1種住居地域（準住居地域に用途変更手続中）  
**敷地面積** 約11,500㎡（病院敷地の東部分）

## ■建物概要

**建築面積** 3,500㎡ **延べ面積** 10,400㎡  
**階数** 地上4階 **高さ** GL+17.8m  
**構造** 鉄骨造、ブレース付きラーメン構造  
**構造形式** 基礎免震構造

## ■病院との接続

現状のロータリーを生かしながら、人と車のメイン動線を分離した安全な計画とします。  
 庁舎の市民窓口（2階）、病院玄関（1階）、立体駐車場（2階）とを同じレベルにしてプラザでつなぎます。

## ■近隣との調和

病院の療養環境や眺望を守り、近隣への圧迫感に配慮した、4階建て低層の「緑の丘の庁舎」とします。  
 庁舎の外観デザインは、緑豊かなランドスケープやロータリー、病院との調和を大切にします。

## ■耐震性能

南海トラフの巨大地震や直近の加木屋断層帯における地震では最大震度6強程度の震度が予想されています。このような大地震の際にも、防災拠点としての機能を維持させるため、耐震グレードは「免震上級」とします。



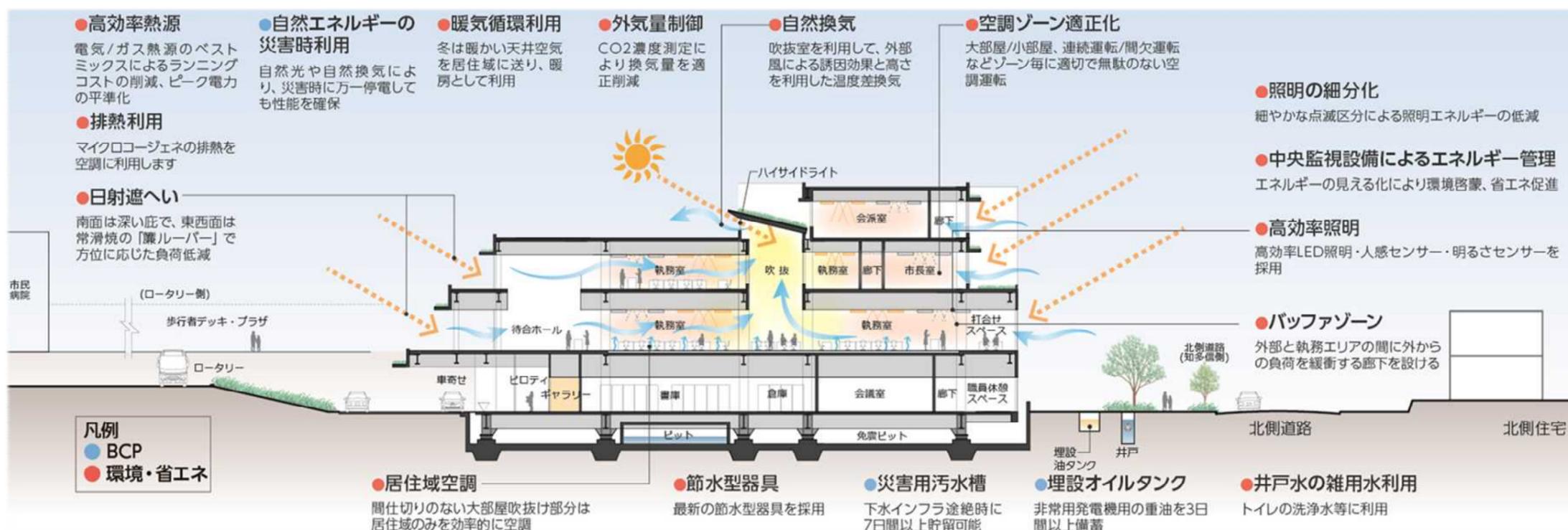
## ■事業スケジュール

	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)	2021年度 (H33年度)
基本設計	←→			
実施設計		←→		
新庁舎建設工事			←→	
立体駐車場工事		←→		
新庁舎開庁				○

## ■インフラの途絶への対応

電源確保	←	非常用発電機(3日間以上の燃料備蓄) 電源車接続対応(長期停電時の対応)
通信継続	←	通信引込の多重化 防災無線
熱源・空調	←	電気・ガス併用熱源 非常用発電機からの電源バックアップ
飲料水	←	受水タンク(4日間以上備蓄) ペットボトル備蓄
トイレ	←	ピット内受水タンク(4日間以上備蓄、井戸水利用) 災害用汚水槽(7日間以上備蓄)

## ■環境・省エネ設備



### 本案および新庁舎建設に関する問合せ先

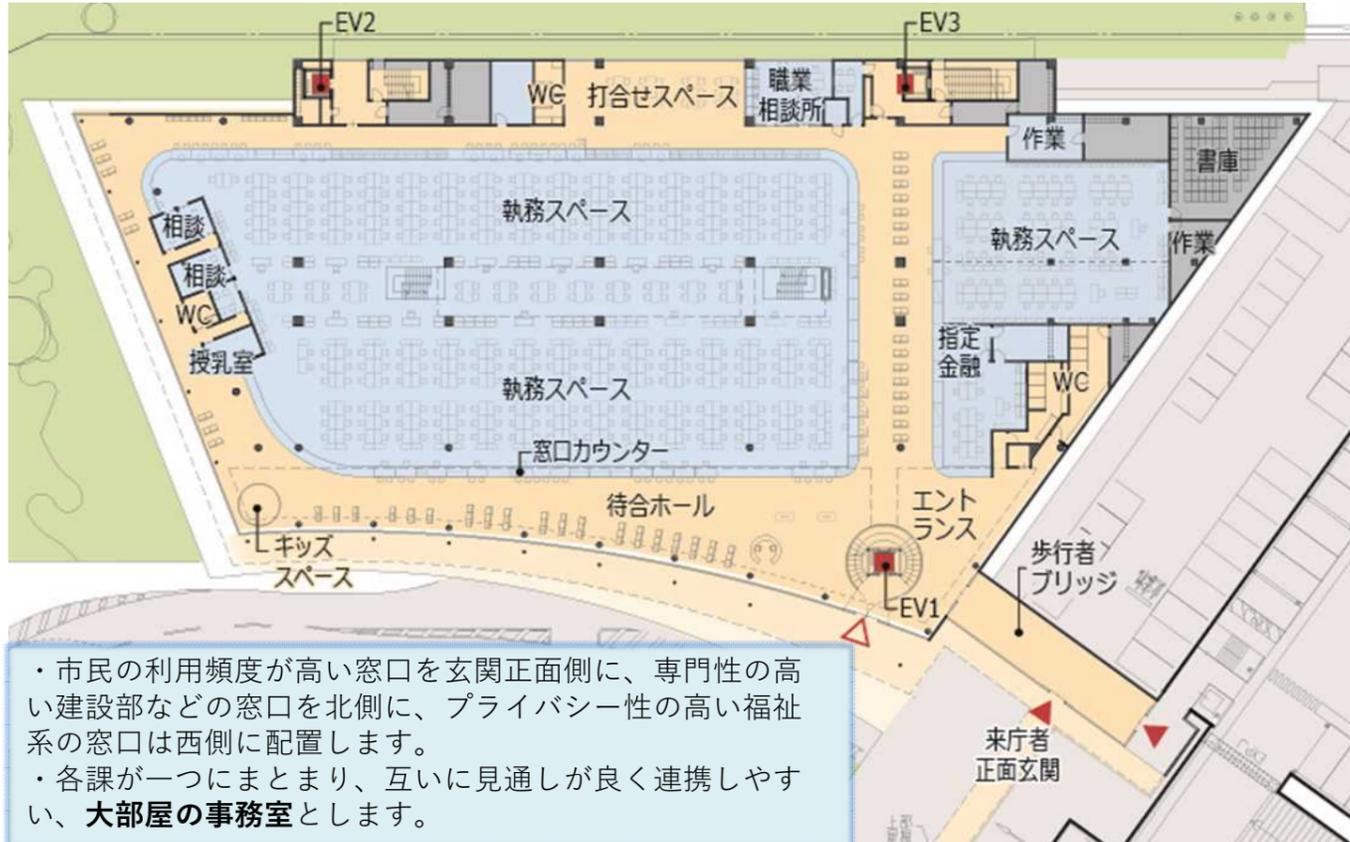
常滑市役所企画部施設マネジメント課  
庁舎整備チーム

〒479-8610  
 愛知県常滑市新開町4丁目1番地  
 ☎：0569-35-5111（内線556）  
 ☎：0569-35-4329

✉：  
 chosyaseibi@city.tokoname.lg.jp

# ■ 平面計画

## ■ 2階平面図



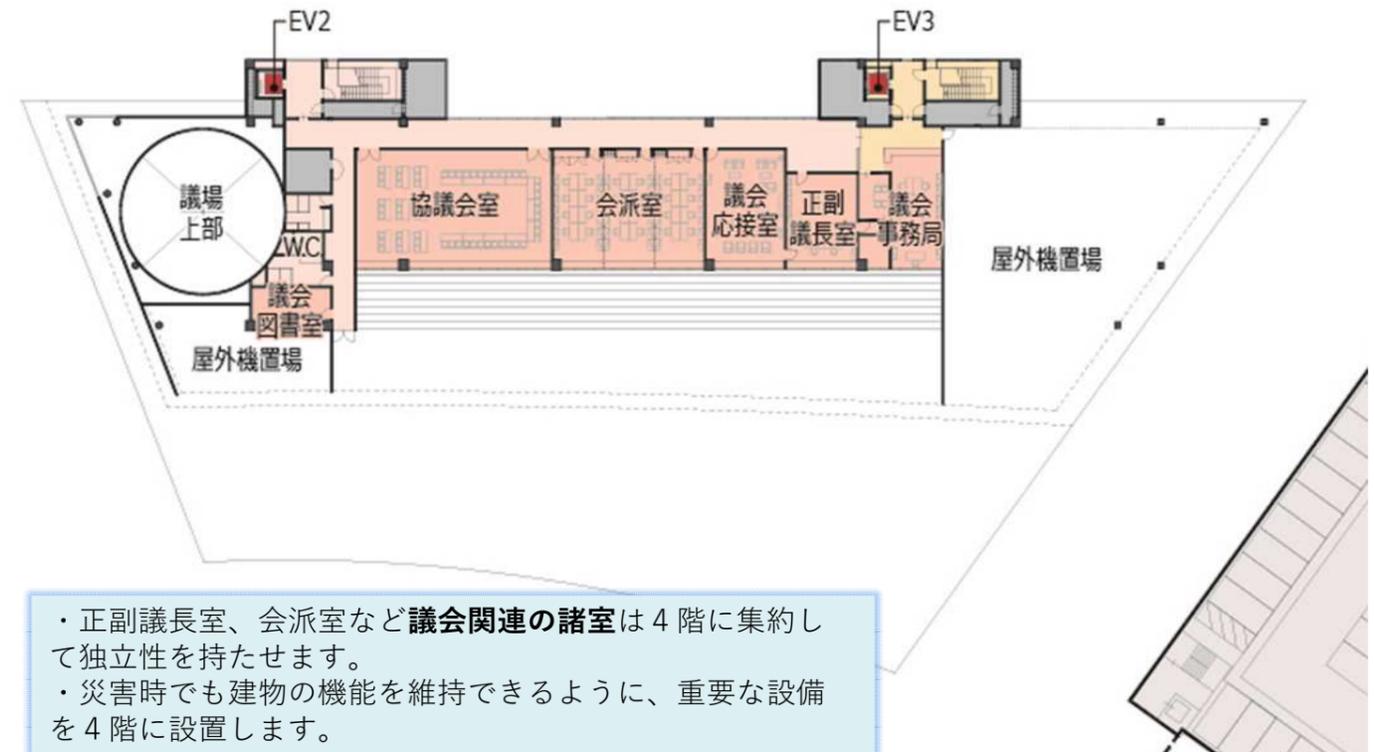
- ・市民の利用頻度が高い窓口を玄関正面側に、専門性の高い建設部などの窓口を北側に、プライバシー性の高い福祉系の窓口は西側に配置します。
- ・各課が一つにまとまり、互いに見通しが良く連携しやすい、**大部屋の事務室**とします。

## ■ 1階平面図



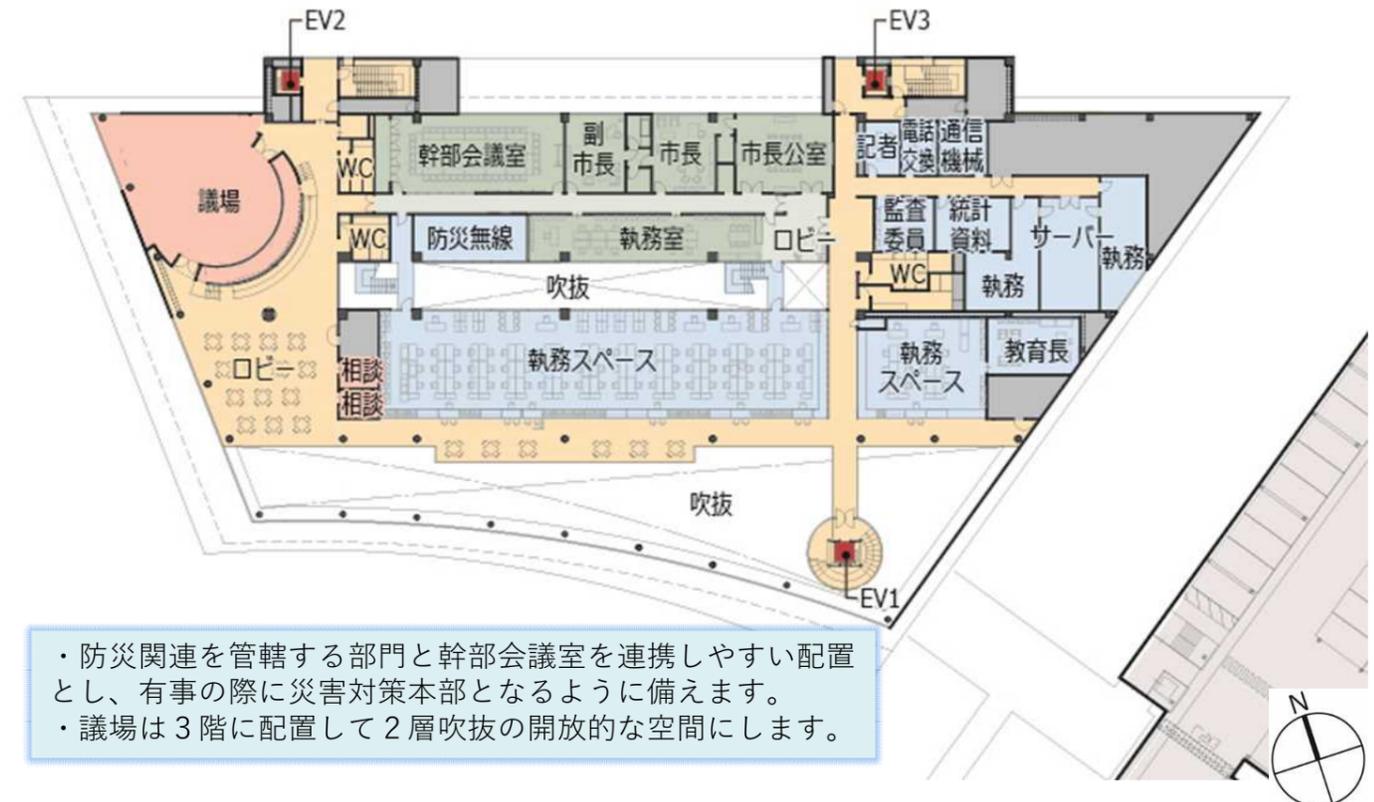
- ・休憩スペースや更衣室などの**バックヤード**を1階に集中配置します。
- ・**市民交流ゾーン**や**ギャラリー**を設けて、市民のみなさまが親しみやすい環境を整備します。

## ■ 4階平面図



- ・正副議長室、会派室など**議会関連の諸室**は4階に集約して独立性を持たせます。
- ・災害時でも建物の機能を維持できるように、重要な設備を4階に設置します。

## ■ 3階平面図



- ・防災関連を管轄する部門と幹部会議室を連携しやすい配置とし、有事の際に災害対策本部となるように備えます。
- ・議場は3階に配置して2層吹抜の開放的な空間にします。

